

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

奈良県伝統野菜「大和まな」を用いた地域ブランド商品の開発・製造・販売事業

黄色化し易く流通が困難であったため幻と呼ばれるようになった奈良県伝統野菜「大和まな」を、流通しやすい加工食品とする工夫を行い、安心・安全で健康的なイメージを持つ地域ブランド商品として需要の開拓を行う。

連携体

農林漁業者

上田 喜章 (農業)

研究の結果、通年栽培できるようになった大和まなの安定供給を行なう。

中小企業者

株式会社しあわせ家 (食料品製造業)

大和まなを用いた新商品 (大和まなフレッシュ漬け・大和まなシート等) の開発・製造・販売を行う。

サポート機関等

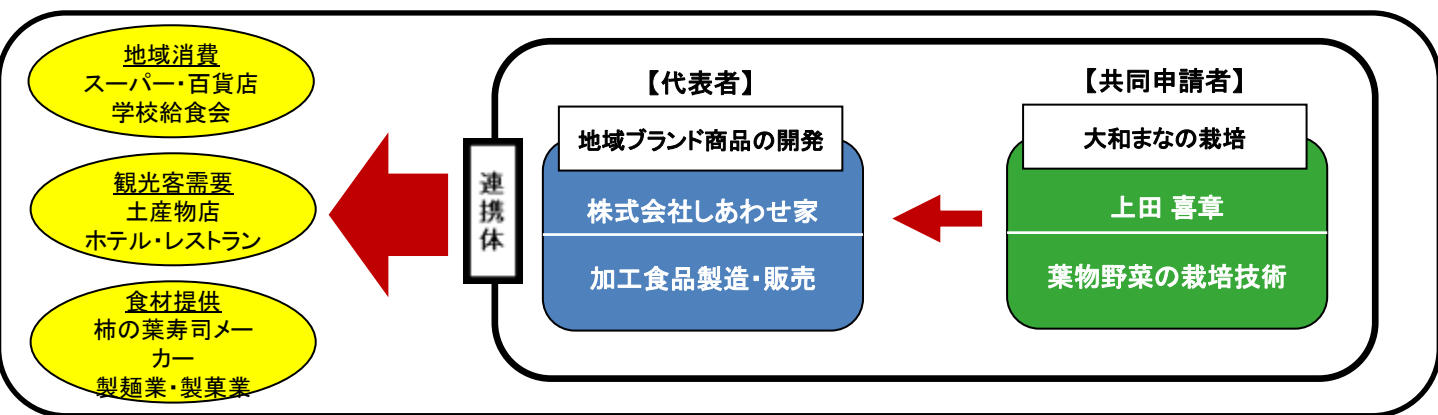
奈良県中小企業団体中央会、地域活性化支援事務局

連携の経緯

奈良県で加工食品の製造・販売を営む(株)しあわせ家は、従来から奈良らしい「食」の開発に取り組んできた。その過程で、大和伝統野菜の振興を目指す葉物野菜の専門家の上田喜章と出会い、上田の生産する「大和まな」を使って、新しい地域特産品の開発・販売を進めるため連携事業を開始した。

連携に当たっての課題や工夫等

上田喜章は、種の蒔き方・光量調整・土壌改良方法等の工夫を行い、葉の部分が更に大きく、柔らかくなる栽培に取り組む。(株)しあわせ家は、奈良らしさを追求した商品を開発し、収益力の向上を図る。また、間引きした大和まなを使う「大和まなベビーリーフ」や、切れ端等を活用する「大和まな粉末」等の商品を開発することで、農産物の商品化効率を上げる。



連携による効果

農林漁業者

5年で1,630万円の売上高向上、伝統野菜「大和まな」の復活

大和まなは他の葉物野菜よりも付加価値が高いため価格が安定し、高い収益性が期待される。

中小企業者

5年で3,630万円の売上向上、地域ブランド商品の需要開拓

新たな奈良県の地域ブランド商品を開発することにより、地域内消費と土産物需要の開拓が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社しあわせ家
TEL：0742-35-5666
E-mail：fukuyama@siawaseya.com

所在地：奈良県奈良市恋の窪2-197-3
FAX：0742-34-4493
ホームページ：http://www.siawaseya.com/